

第7期末（償還日2022年3月4日）	
償還価額	10,607.17円
純資産総額	486百万円
第7期（償還期）	
騰落率	6.7%
分配金合計	0円

（注）騰落率は収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものと
として計算したものです。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、弊社ホームページの「ファンド情報」→「2015年以降に償還した以下のファンドの運用報告書はこちらです。」→当ファンドのファンド名称を選択→「過去の運用報告書一覧」当ファンドの欄の運用報告書（全体版）を選択することにより、閲覧およびダウンロードすることができます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。運用報告書（全体版）をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

ミルバーン・コーナーストーン・ファンド

愛称：未来へのいしずえ

追加型投信／内外／資産複合／特殊型

償還 交付運用報告書

作成対象期間：2021年3月16日～2022年3月4日
第7期《償還日：2022年3月4日》

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「ミルバーン・コーナーストーン・ファンド（愛称：未来へのいしずえ）」は、投資信託約款の規定に基づき2022年3月4日に繰上償還となりました。

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、世界の多様な市場の先物取引およびETFなどへ実質的な投資を行い、運用戦略のボラティリティを抑制し、さまざまな環境下において収益の獲得を目指し運用を行ってまいりました。ここに、運用状況と償還内容につきご報告申し上げます。当ファンドをご愛顧いただきましたことに対して、厚く御礼申し上げます。

ソシエテ・ジェネラル・オスマン・マネジメント株式会社※

東京都千代田区丸の内一丁目1番1号
パレスビル

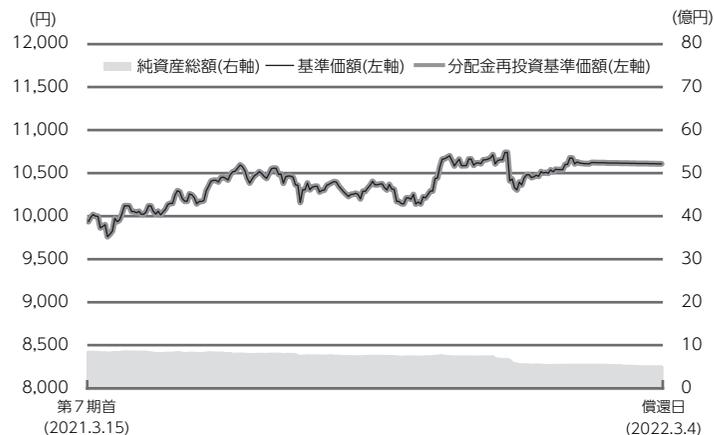
お問い合わせ窓口：運用・企画部
電話番号：03-6777-6900

土日祝・年末年始を除く9時～17時
ホームページ <https://www.sghaussmann.co.jp> ※

※2021年10月8日付で弊社の商号が変更され、当該商号変更に伴い、ホームページアドレスも変更されました。

運用経過 (2021年3月16日から2022年3月4日まで)

■基準価額等の推移について



第7期首	9,937円
第7期末 (償還日)	10,607.17円
既払分配金	0円
騰落率 (分配金再投資ベース)	6.7%

- ※ 分配金再投資基準価額の推移は、第7期首の基準価額をもとに委託社で指数化したものを使用しております。
- ※ 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ※ 分配金を再投資するかどうかについてはお客様が利用するコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- ※ 当ファンドの商品性に適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

◇基準価額の主な変動要因

上昇要因：

- ・新型コロナウイルスワクチンの普及と世界経済の回復期待を背景に株式市場が底堅く推移したこと。
- ・為替市場（日本円／米ドル）で円安に振れたこと。

下落要因：

- ・新型コロナウイルスの変異株への警戒感から、投資家のリスク回避の動きが強まったこと。
- ・為替市場（日本円／米ドル）が円高に振れたこと。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2021年3月16日～2022年3月4日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	108円	1.046%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額（月末値の平均値）は10,377円です。
（投信会社）	(38)	(0.363)	・委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(66)	(0.640)	・交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(4)	(0.043)	・運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	7	0.063	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(1)	(0.006)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷）	(6)	(0.057)	・印刷は、法定書類（有価証券報告書、半期報告書、運用報告書等）の作成、印刷等に要する費用
（その他）	(0)	(0.000)	・その他は、合同金銭信託の手数料
合計	115	1.109	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

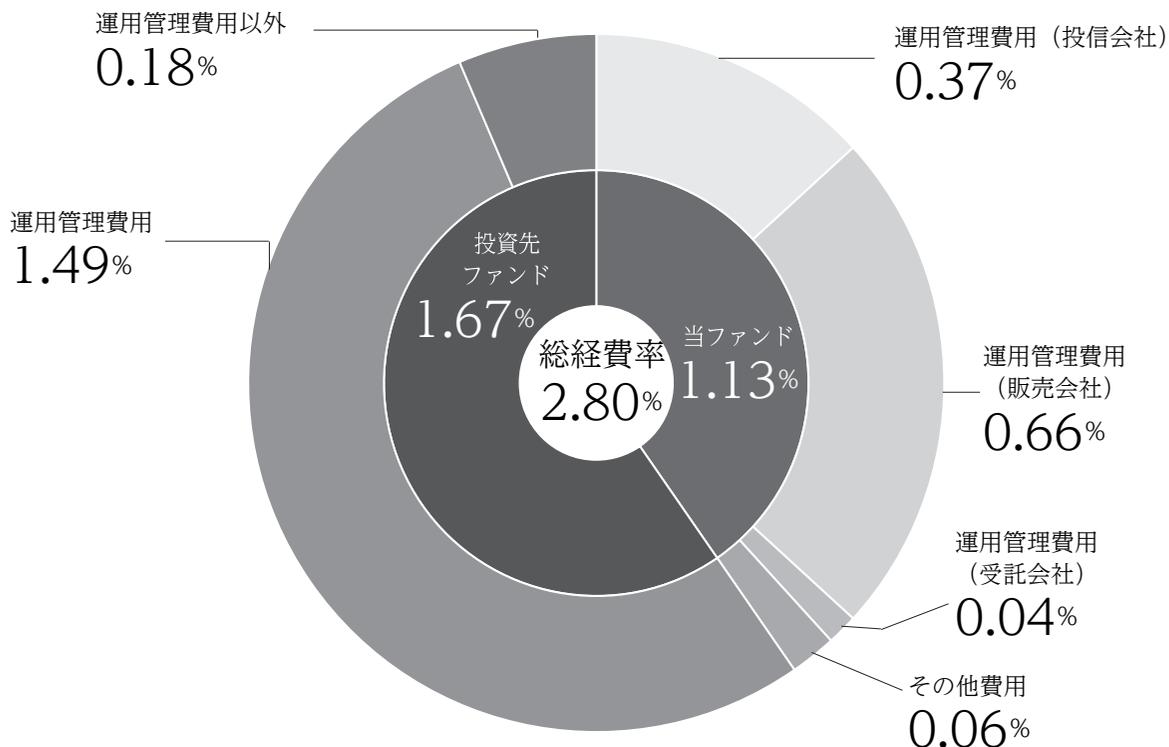
(注5) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注6) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.80%です。



総経費率 (①+②+③)	2.80%
①当ファンドの費用の比率	1.13%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.49%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.18%

(注1) 上記の費用は、「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

(注8) 四捨五入の関係で、内訳の計と合計が一致しない場合があります。

■最近5年間の基準価額等の推移について



- ※ 分配金再投資基準価額の推移は、2017年3月15日の基準価額をもとに委託会社で指数化したものを使用しております。
- ※ 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ※ 分配金を再投資するかどうかについてはお客様が利用するコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- ※ 当ファンドの商品性に適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

決算日	2017年3月15日 決算日	2018年3月15日 決算日	2019年3月15日 決算日	2020年3月16日 決算日	2021年3月15日 決算日	2022年3月4日 償還日
基準価額（分配落）（円）	9,774	9,452	10,056	8,299	9,937	10,607.17
期間分配金合計（税込み）（円）	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率（%）	—	△3.3%	6.4%	△17.5%	19.7%	6.7%
純資産総額（百万円）	6,853	2,926	1,943	894	829	486

※ 当ファンドの商品性に適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

■投資環境について

米国の大型財政政策に起因する長期金利の上昇や、スエズ運河の閉鎖、アルケゴスの騒動を背景に、期初から下落して始まりました。4月から7月中旬にかけては、新型コロナワクチン接種の拡大と緩和的な金融・財政政策に支えられ、世界的な株価、商品価格、金利の上昇をもたらすなか、投資ファンドの価格は堅調に推移しました。7月下旬から10月上旬においては、新型コロナウイルスのデルタ株の拡大や、世界的な金融政策の縮小懸念を背景に、投資ファンドの価格も軟調に推移しました。その後、供給制約を背景に、エネルギー価格や商品価格が高騰し、投資ファンドの価格にプラスに影響しましたが、11月の月末にかけて新型コロナウイルスの新たな変異株（オミクロン株）の出現が市場を震撼させ、株式市場は混乱したため、投資ファンドは下落しました。その後、期末にかけては、オミクロン株への警戒感の後退を受けて、投資ファンドは上昇しました。また為替市場で、円が米ドルに対して前期比で下落したこともプラスに影響しました。

■ポートフォリオについて

当ファンドの運用方針に基づき、当期中も引き続き、主要な投資対象である外国籍投資法人「マネージド・ファンド／ミルバーン・マルチアセット・ファンド・リミテッド（クラス D 日本円（ヘッジなし））」（以下「投資ファンド」といいます。）を高位に組入れる運用を行いました。

投資ファンドへの投資にあたっては、一般社団法人投資信託協会規則に則り、信用リスクを適正に管理することにより、信用リスクの分散を図った投資を行いました。なお、2021年12月13日の書面決議により2022年3月4日での繰上償還が決定したため、2022年1月14日までに保有する投資ファンドをすべて売却し、その後はSGオスマン・マネー・マザーファンドⅡとコール・ローン等による安定運用を行いました。

■ベンチマークとの差異について

当ファンドの商品性に適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

■分配金について

該当事項はありません。

設定来の運用経過

当ファンドの運用方針に基づき、設定来、主要な投資対象である外国籍投資法人「マネージド・ファンド／ミルバーン・マルチアセット・ファンド・リミテッド(クラス D 日本円(ヘッジなし))」(以下「投資ファンド」といいます。)を高位に組入れる運用を行いました。

投資ファンドへの投資にあたっては、一般社団法人投資信託協会規則に則り、信用リスクを適正に管理することにより、信用リスクの分散を図った投資を続けてまいりましたが、2021年12月13日の書面決議により2022年3月4日での繰上償還が決定したため、2022年1月14日までに保有する投資ファンドをすべて売却し、その後はSGオスマン・マネー・マザーファンドⅡとコール・ローン等による安定運用を行いました。

お知らせ

約款変更のお知らせ

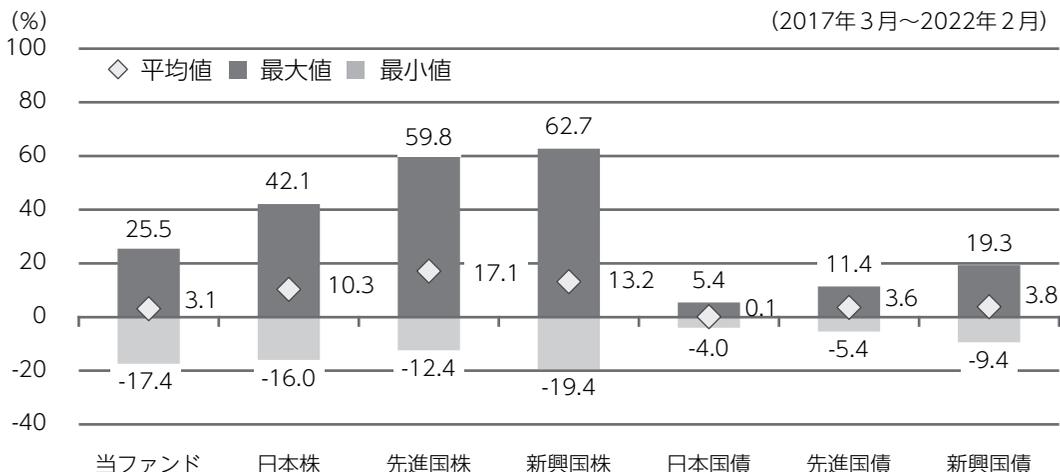
- ・ 投信会社の商号を「リクソー投信株式会社」から「ソシエテ・ジェネラル・オスマン・マネジメント株式会社」に変更するため、所要の約款変更を行いました(変更適用日:2021年10月8日)。
- ・ 投信会社の商号変更に伴い、「リクソー・マネー・マザーファンドⅡ」のファンド名を「SGオスマン・マネー・マザーファンドⅡ」に変更するため、所要の約款変更を行いました(変更適用日:2021年10月8日)。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合／特殊型
信託期間	2015年4月13日から2022年3月4日(当初2025年3月14日)まで
運用方針	投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	ジャージー籍外国投資法人「マネージド・ファンド／ミルバーン・マルチアセット・ファンド・リミテッド(クラスD日本円(ヘッジなし))」投資証券を主要投資対象とします。また、SGオスマン・マネー・マザーファンドⅡ受益証券へも投資を行います。
運用方法	この投資信託は、主として投資ファンドの投資証券へ投資を行うことにより、投資ファンドが運用目標とする「世界の多様な市場の先物取引および上場投資信託証券等への投資により、運用戦略のボラティリティを抑制し、さまざまな環境下において収益の獲得を目指す」という運用成果を獲得することを目的とします。
分配方針	原則として、毎決算時に分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当収入および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。収益分配金額は、委託者が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。収益分配にあてず投資信託財産内に留保した利益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、運用の基本方針に基づき運用を行います。

(参考情報) 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

◇代表的な資産クラスとの騰落率の比較



【代表的な資産クラスとの騰落率の比較】について

- 当ファンドと他の代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものであり、決算日に対応した数値とは異なります。
- 当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

各資産クラスの指数について

日本株 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株 MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株 MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債 NOMURA-BPI 国債

先進国債 FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債 JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。

MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

NOMURA-BPIに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

FTSE世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース) に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

各資産クラスの騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに、株式会社野村総合研究所が計算しております。株式会社野村総合研究所及び各指数のデータソースは、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、株式会社野村総合研究所及び各指数のデータソースは、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

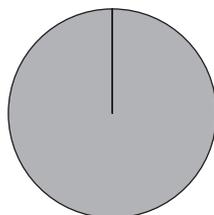
ファンドデータ

■当ファンドの組入資産の内容 (2022年3月4日現在)

◇組入上位銘柄

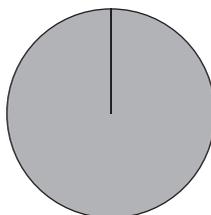
該当事項はありません。

◇資産別配分



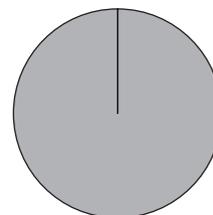
コールローン等、その他
100.0%

◇国別配分



日本
100.0%

◇通貨別配分



日本円
100.0%

※ 比率は償還時における純資産総額に対する評価額の割合です。

■純資産等

項目	償還時
	2022年3月4日
純資産総額	486,765,955円
受益権総口数	458,902,902口
1万口当たり償還価額	10,607円17銭

※ 当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は375,922,231円です。